



# かけはし

令和5年8月（第5号）

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL: 042-471-6600 FAX: 042-473-4590

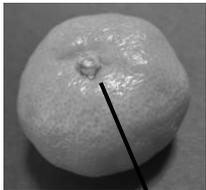
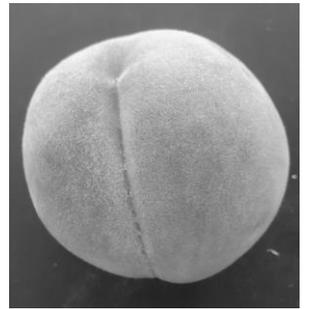
HP「成美教育文化会館」で検索

## モモやミカンの実に隠された真実とは？

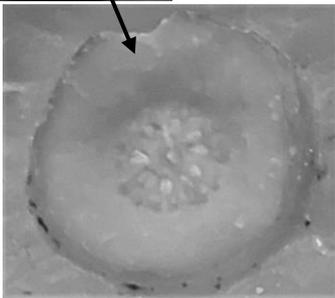
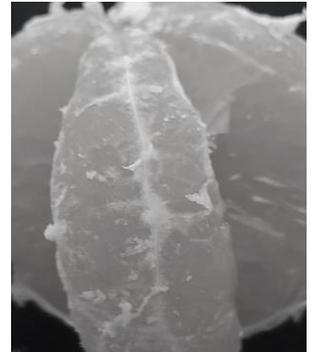
夏を代表する果物のひとつであるモモも、八月の終わりになると、ミカンなどの秋の果物に主演の座をゆずるようになります。

ところでモモの実には、どれにも一本の深いすじがついていますが、これにはどんな訳があるのでしょうか。モモには、どの実にも同じところに同じようなすじがついていますから、傷でないことはわかります。

モモは、花のめしべの一部が、ふくらんで実になったものです。じつは、花を形づくっているおしべやめしべ、花びらなどは、すべて、葉が変化してできたものです。ですから、モモの実も、もとをたどれば、葉が変化して実になったもの、ということになります。表面に縦一本のすじがついているのは、モモの実が一枚の葉からできている証拠です。表面に見られるすじは、葉が巻いてくっついたところのなごりなのです。ウメやスモモにも同じようなすじが見られます。



ミカンの場合は、一番外側の皮をむくと、この実が十枚前後の葉からできていることがわかります。ミカンの場合は、中のひとつひとつの袋が、一枚の葉に当たる部分です。



▲「へた」をとったあと

その証拠に、袋の背中側を見ると、縦と横に伸びる葉のすじが、白く残っている様子が見られます。私たちが食べている果汁のつまった部分は、簡単にいうと、葉の裏に生えた毛に、果汁がたまったものです。つまり、私たちはミカンの葉の裏の毛を食べているのです。また、よく実ったミカンのへたをとると、それぞれの袋に養分などを送っていた管が、袋の数だけ白いあととして見るができます。このような実では、外側の皮をむかないでも、へたとれば、中の袋の数を、およそ言い当てるができます。

果物は、つくりそれぞれ特徴があります。食べる前によく見てみましょう。スイカも横に輪切りにしてみると、面白いつくりをしていることがわかります。

(T. Y.)



▲スイカを輪切りにすると……